

●アート & グルメ

12月7日 17:30より国立新美術館で、19:00より六本木の浜藤にて行われました。



●小林玖仁男会員が卓話をしました。

小林玖仁男会員が、12月11日の京都洛南ロータリークラブで卓話をしました。森絹子会員や白井靖会員、米山奨学生の王 唯斯さんも Make-Upしました。



●マラソン完走!!

12月2日に行われた川口マラソンにて、白井靖会員と黒田育央会員が完走しました。また白井靖会員は、12月9日に行われたさいたま国際マラソンにも完走しました。



次回予告

1月10日 定例会  
会場/そごう川口店ダリアルーム  
点鐘/12:30

クラブフォーラム①

※12月27日と1月3日は休会です

次々回予告

1月17日 定例会  
会場/そごう川口店ダリアルーム  
点鐘/12:30

クラブフォーラム②



国際ロータリー第2770地区  
第11グループ

Weekly Report  
No. 20

●定例会 第2877回  
2018年12月20日配布

〒332-0012 川口市本町1-18-5 NTTビル1F  
TEL. 048-222-0124 FAX. 048-222-0118  
<http://www.kawaguchi-rc.com>



Be The Inspiration

あいさつ

会長 岡村 睦美

12月は疾病予防と治療月間です。  
ロータリークラブは国内はもちろん、海外においても多くの医療奉仕をしております。  
今日は、その一つ「日本のロータリーの新しいモデルとして—日本から命を守る新しいカタチ—」というロータリーの友に掲載された記事をご紹介します。  
沼田ロータリークラブの事例です。  
バングラデシュは1971年にパキスタンから独立しましたが、日本の約4割の国土、人口が世界第8位、日本よりも3千万人以上多い1億5千9百万人です。  
平均年収約1万7千円という経済的な貧しさに加え、飲料水となる地下水にヒ素汚染があり、約3割の人がヒ素中毒で亡くなっています。  
平均寿命は60歳を切ります。  
医師は人口2万5千人当たり1人、日本は430人あたりに1人です。  
そこでこのクラブが考えたのが、遠隔医療システムでした。  
現地のチャンドブルセントラルRCと協力し、グローバル補助金を使い、遠隔医療を日本と現地で行えるようにしました。  
そして現在は医療向上のための、VTT(職業研修チーム)を派遣する事を目指しております。  
このようにロータリークラブによる医療支援の新しいモデルが次々で行われています。  
本日はこの事例をご紹介しますし、現在国際奉仕委員会が目指しているネパール・パタンでの医療支援を皆で応援していきたいと思っています。

